「夏休み！　にいがた探検マップ」
小中学生へ配布

新潟地域広域市町村圏協議会では、新潟圏域内の小中学生を対象に、近隣市町村の体育施設や文化施設などを知って利用してもらうため、圏域内の施設（41か所）を紹介した「夏休み！にいがた探検マップ」を、小中学生に配布しました。探検マップには施設利用割引券が付いていて、夏休みの間利用できます。

この夏休み期間中に、探検マップを持って、いろいろなまちを探検してみましょう。

◆**問い合わせ**　総務課　☎385－2111

河川流域連携イベント

◎**新潟リバーミーティング**

◆**日時**　8月22日(日)　午前10時～午後3時

◆**会場**　信濃川左岸やすらぎ堤　りゅーとぴあ周辺

◆**内容**　信濃川＆阿賀野川流域物産市、合併予定13市町村ふれあいマーケット、信濃川クルージングなど。

◎**信濃川クルージング参加者募集（参加は無料）**

ウォーターシャトル体験乗船は1回あたり定員80名で5回運行し、乗船者から簡単なアンケートを記入してもらいます。

◆**応募方法**　8月10日（必着）までに必ず往復はがきで乗船希望者（1通につき5名まで）の氏名、年齢、乗船希望便と、応募者の住所、氏名、電話番号を記入し、実行委員会事務局へ。応募者多数の場合は抽選。

◆**信濃川クルージング運行時間**

	受付開始	出　発	到　着
1便	9：30	10：00	10：40
2便	10：30	11：00	11：40
3便	11：30	12：00	12：40
4便	12：30	13：00	13：40
5便	13：30	14：00	14：40

◆**コース**　会場船着場（JR越後線鉄橋付近）～信濃川河口付近～会場船着場の周回

◎**河川流域連携フォーラム**

女優の浜美枝さんを招いて、特別講演会などを開催します。

◆**日時**　8月24日(火)　午後1時30分～4時30分

◆**会場**　りゅーとぴあ　能楽堂

◆**申込・問い合わせ**　河川流域イベント実行委員会事務局　〒951－8550　新潟市役所土木総務課内　☎228－1000（内線2923）

ご厚志に感謝

6月21日、東北電力㈱新津営業所（佐藤文彦所長）より、自動点滅器付の街路灯4灯の寄贈がありました。また、福祉に役立ててほしいと、7月4日に開催された第10回町民ゴルフ大会の参加者から4万3、892円、㈱大助よりチャリティ募金1万円の寄付がありました。

大変ありがとうございました。

6月資源ごみ収集実績

空きびん	5.8 t
空き缶	3.6 t
古紙	35.6 t
ペットボトル（拠点回収分）	1.7 t
プラ製容器包装（資源化量）	7.1 t
合計	53.8 t

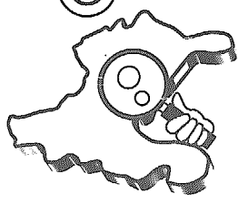
俳句（公募作品）

句題　青田（あおた）　水無月（みなづき）　夕凪（ゆうなぎ）

虫よけの太鼓打ちつゝ青田縫う　木津　石井　楽秋
夕凪や牛の涎（よだれ）の止めどなく　東町　細山芳洲子
青田売る噂が噂生みにけり　木津　坪谷　耕雨
白鷺の降りて絵となる青田かな　川根町　本間　蒼
青田風窓全開の新校舎　東町　市村横雲子
夕凪や網解く漁師の大胡坐（あぐら）　木津　保科　蘭山
夕凪のひとときは暮れて竹ばやし　中央　谷井野武士
微笑の地蔵に軟き青田風　川根町　菊地　隆夫
水無月や土間で腹這いペルシャ猫　川根町　菊地　栄子
夕凪やコーヒー香る海の家　二本木　今井　峰雪
米どころ越後平野の青田かな　川根町　高橋　惣衛
阿賀の風渡る青田を見て廻る　中央　神田　斗子
青田中横木農道まっすぐに　木津　越野　春
夕凪や月下美人の咲くを待つ　東町　細山　両子
不揃ひもすくすく青田児童の田　二本木　渋谷　実生
水無月や朝に混み合う水巡り　木津　今井　清水
夕凪や連れ添う散歩肩よせて　木津　今　石水
山並みの稜線（りょうせん）下の青田かな　木津　今井　成治
青田風田毎の月をゆらしたり　木津　宇野　多収
草取りにアヒルが泳ぐ青田かな　木津　伊藤十四秋
人の住む家の軒まで青田かな　木津　宇野　水夢
此処に居て暮らす他なし青田時　木津　宇野　勝幸
夕凪や大漁船の港着く　沢海　渋谷　ウタ
老二人青田を渡る風を愛で　沢海　田辺　岳乃
青田風ふところに入れ田を巡る　木津　今井　夫子
青田風除草機廻すただひとり　川根町　滝川　エツ
夕凪や足にひんやり宿の下駄　二本木　藤崎　春月
ぐずる子を背なにあやして青田径　二本木　中川　照月
バイパスや青田の果ては五頭の嶺　二本木　藤崎　道子
一望に大揺れ小揺れ青田風　二本木　村木緋佐子
青田中伜が曲げた稲の列　東町　高橋　鴉子
夕凪や無人の島に鳥あまた　川根町　神田　恵子
限り無く続く青田に人もなし　新津市　坂爪よう子

横越町の歩んだ道を覗いてみよう

横越歴史探訪⑥



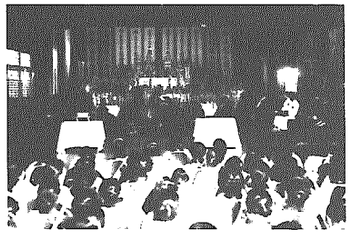
明治の富国強兵～太平洋戦争
戦争に耐えた村民の生活

鉄道開通

今や鉄道は、通勤・通学になくてはならない重要な交通手段となっています。

鉄道敷設案が最初に出されたのは明治17年のことで、その後この企画はいったん頓挫（とんざ）。明治28年に北越鉄道株式会社が創設され、計画が再開されました。翌29年には二本木村などで鉄道用地の買収が進められ、同年末から工事開始。明治30年11月20日に、沼垂（ぬったり）（新潟市）―一ノ木戸（三条市）間が開通、同時に新津駅と亀田駅も開業し、横越住民にも利便をもたらしました。

明治40年、北越鉄道は国策によって国有の信越線となり、大正15年に信越本線荻川駅が開業し、木津・二本木地区の住民が多く利用するようになりました。


合同村葬の様子（昭和13年）

大災害となった沢海大火

明治42年4月19日午後3時、沢海の農家の宅地に積まれていたワラより発火。東南の風により火の勢いは大変強く、家屋48棟が全焼、3棟が半焼したほか、納屋23棟、土蔵2棟が全焼し、沢海の約3分の1が焼け、その日の午後10時にようやく鎮火しました。これだけ大きな災害であったにもかかわらず、死傷者、盗難、紛失物などはなかったと報告されています。

戦争は平和な村にも傷跡を残した

のどかな純農村横越村も、明治後期から昭和時代になると暗い不安な時代の影響を受け、村からも何人かの若者達が、戦争へかり出されていきました。

当時、村役場の重要な事務として兵事行政もありました。徴兵制によって、男子は満20歳になると徴兵検査を受けた後、兵役につかなければならなかったほか、農家に飼われていた馬も軍用として徴発されることもありました。

戦争、出兵等により村から出ていき、大切な命を失った人々も数多くいました。犠牲者は、日清戦争5名、日露戦争13名、シベリア出兵1名、日中戦争33名、そして太平洋戦争で291名、合計340名以上にも及んでいます。

昭和20年の人口が疎開で本村へ来ていた人々を入れて9、199名、戸数1、446戸のときですから、5戸に1人の割合で、大切な家族を失っていることになります。

戦争の中の横越村

豊かな穀倉地帯であった横越村にも太平洋戦争の影響は大きく、新潟市がいつ爆撃されるか分からない不安な日々を送り、都会からの疎開児童の姿も見られるようになりました。

女子学生による食糧増産のための勤労奉仕

戦時中は、衣料品を中心とする生活用品や食糧の不足は、年を追うごとに深刻化。消費物資を購入する際に必要な各種のキップは、家族数に応じて各戸に分配されました。また、戦争体制の食糧供給地として、横越村には米をはじめ、野菜・卵・肉など各種食料品を生産。さらに、金属原料も大変不足し、寺院の鐘さえも供出しなければなりませんでした。

戦争末期、B29墜落

第二次世界大戦中、住民にショックを与えたのは、焼山に墜落した米軍爆撃機B29でした。昭和20年7月20日午前0時半ころ、B29 5機が新潟に飛来、その1機が高射砲弾をうけ火をふきながら横越上空を通過、弧を描きながら落下してきました。

早速、警防団、在郷軍人などの関係者が現場へ行ってみると、落ちた所は畑で、辺りは飛行機の大きい残骸（ざんがい）が激しく燃えあがっていました。落ち着きを待って調べると、4人の遺体が確認され、7名が捕虜となりました。この時、幸い住民への直接の被害はありませんでした。遺体を丁寧に葬ったことがのちに米軍に好感を与え、戦犯などというとがめはありませんでした。

当時国民の気分も高ぶっており、近郷近在から大勢の見物人が押しかけ、見物人を乗せた舟が転覆して数人の溺死（でし）者が出るなど、大変な騒ぎとなってしまいました。

墜落したB29の主翼（昭和20年7月21日付「新潟日報」より）